

2019 年度 活動報告書

特定非営利活動法人 アジア女性自立プロジェクト

2020 年 5 月 23 日

I 概観

2019年度の方針は、日本国内の外国人女性への支援に重点をおくことでした。それに伴い、フェアトレード事業の拡張を留め、既存製品の販売促進を重視しました。国内の事業では、新しいプロジェクトを実施することで手ごたえを感じました。製品販売では、EC（エレクトリックコマース）戦術の工夫などに取り組みました。

年度末には新型コロナウイルスの感染拡大の問題により、国内事業のプロジェクトの一部をキャンセルするなど影響がでました。人の移動や流通が制限されるなど、経済への影響も大きくなっています。製品販売においてもどのような影響を受けるのか、注視していく必要があります。

各事業について以下の活動報告の詳細で成果と課題について述べます。


II 活動の詳細

1 海外事業

(1) フェアトレード等を通じた女性の自立を促進する活動

①フェアトレード生産者のエンパワメント

各生産者からの製品仕入れ状況は下記の通りである。

Lampara house (フィリピン)	製品発注数：クッションカバー（さをり織ショール利用）4点、ショルダーバッグ（サンプルとして）9点 仕入額（支払いベース）：8,636円 (右写真：ランパラハウスメンバー)	
APIKRI (インドネシア)	新規購入なし	
Baan Tho Fan (タイ)	製品発注：ペンケース3色各10点、カード入れ蓋付き5色各10点、めがね入れ5色各10点 仕入額：39,553円	
Shakti Samuha (ネパール)	新規購入なし	
MKS Handicraft (ネパール)	製品発注数：ニット製品（帽子49点、手袋50点、スヌード14点） 仕入額：55,100円	

NJ craft (ネパール)	新規購入なし
--------------------	--------

2019 年度は新規の製品開発を基本的には行わず、在庫および定番製品の販売に焦点を当てた。しかし、ランパラハウスからサンプルと、シャクティ・サムハのさをり織の生地再利用としてクッションカバー、を、またバーントーファンから定番で在庫薄になった製品 3 種類を、同じく定番のニット製品を MK クラフトから 3 種類を仕入れた。

AWEP からの仕入れは減ったものの、各国内での引き合いが増えていると報告が届いている。例えば、ランパラハウスはフィリピン国内で JICA からのまとまった注文を受けたり、ネパールのシャクティ・サムハでも、さをり織の布を使ったランチョンマットを受注しており、少しずつではあるが自らの力で販路を模索している。

②国内販売活動によるフェアトレードの促進

【EC による販売】

2019 年度は下記の 3 箇所のサイトで販売した。本年度あらたに開設した minne はハンドメイドを中心とした作品、材料を扱うサイトで、AWEP のネパールの水牛の骨のボタンをハンドメイドの素材として売るために同サイトにショップをオープンした。12 月にオープンしたが、今のところ同サイトでの販売実績はない。

EC は下半期から主担当を香取理事が担当し、こまめな製品掲載やメンテナンスができるようになった。BASE は Facebook の AWEP ページと連動させている。Facebook 経由の購入やレスポンスも少しずつ手応えを感じている。

BASE <https://awep.thebase.in/>

Sooooos. <https://soooooos.com/shop/awep/index>

minne (12 月オープン) <https://minne.com/@awep>

【定番製品・在庫販売促進】

カタログ及び、在庫リストを別途作成し、都度改訂しウェブに掲載した。登録店舗の方々には、サイトページの URL にアクセスし製品注文をいただく仕組みに変え、印刷や送料などの費用を抑えるようにした。カタログは、ボランティアの学生が製作した。(右写真)



【小売り】

登録店舗宛てに定期的な販促メールを発信した。販促メールは7回発信。販促メールによる引き合いは、数は少ないものの登録店舗とのコミュニケーションとしての役割もある。製品の紹介だけに留まらない、役立つ情報を加えるなど工夫して今後も継続したい。

【イベント販売】

本年度は次の通り8回出店した。(昨年度12回)

- 5/12 国際協力セミナー（神戸市）*PEPUP 主催
- 8/31,9/1 にわのあかり（神戸市）(左写真)
- 9/20 川西市男女共同参画センター（川西市）*講演時販売
- 9/29 兵庫教会バザー（神戸市）
- 10/14 日タイカルチャーフェスティバル（京都市）
- 10/27 垂水教会バザー（神戸市）
- 1/17 ひょうごあんしんの日の集い（神戸市）
- 2/16 姫路カトリック教会（姫路市）*講演時販売



【アジアの女性と小物の物語展（通称：アジアの布展）】

フィリピン、タイ、インドネシアなど各地を訪問して入手した珍しい織や染、刺繍の布を中心に展示（一部販売）し、市民の方にアジアの布に親しんでもらうとともに、そうした布を活用して制作された女性たちの手仕事製品を販売する目的で2016年度から

実施している。本年度も3登録店舗の方に協力いただいた。

- 4/10-4/21 里づと（大阪府能勢町）
- 5/20-6/21（公財）神戸学生青年センター（神戸市灘区）
- 8/17-31 ビーンズ・アクト（東京都練馬区）

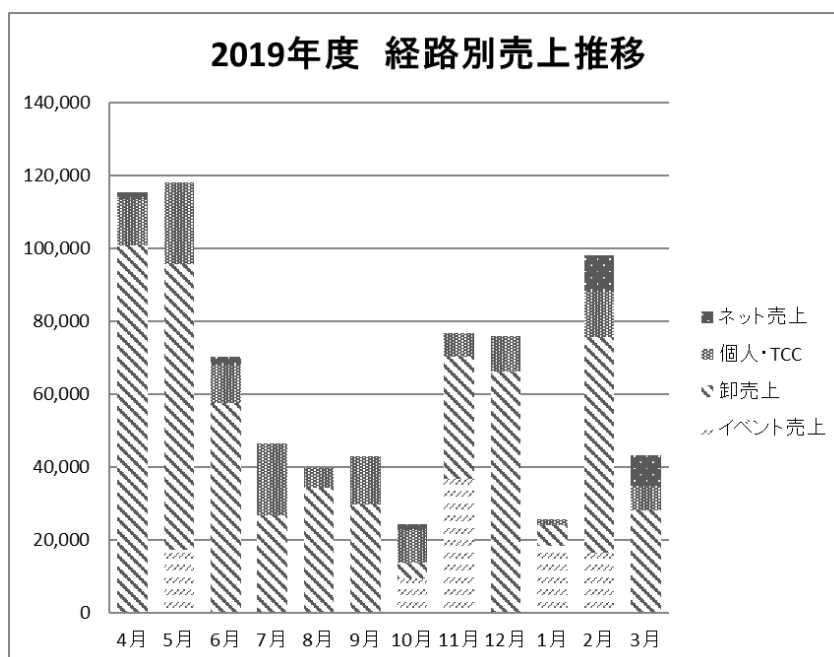
2016年度から売れ残ってきた布を今後も展示会で販売するのは難しく、布の新たな活用方法も併せて検討していく。（右写真：里づと）



【ふるさと納税返礼品】

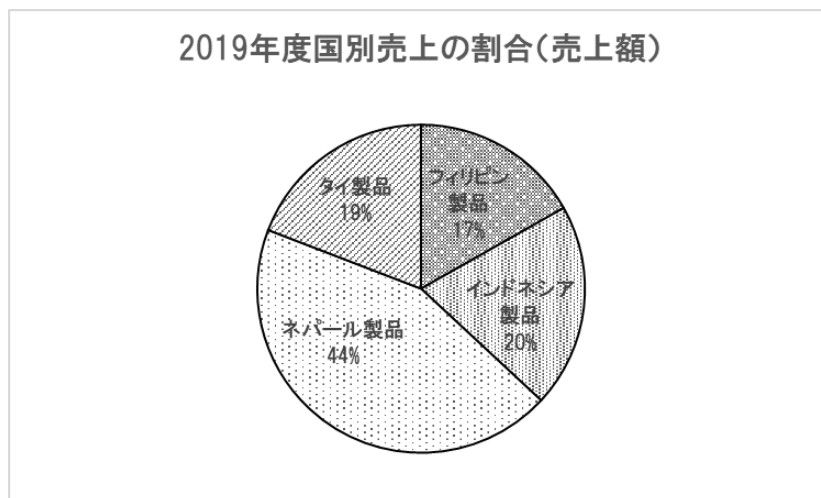
神戸市の「ふるさと納税」（自治体への寄付）に対する返礼品として、AWEPは従来4種類を提供してきたが、総務省から自治体への通達により返礼品は地場産品に限定されることとなり、AWEPからの提供は停止された。

【経路別の売り上げ（月ごと推移）】



全売上の大半は卸売であった。イベント販売の割合が低下し、少しずつではあるがネットでの売上が少しずつ見えてきた。

【製品別売り上げ個数】(参考数値)

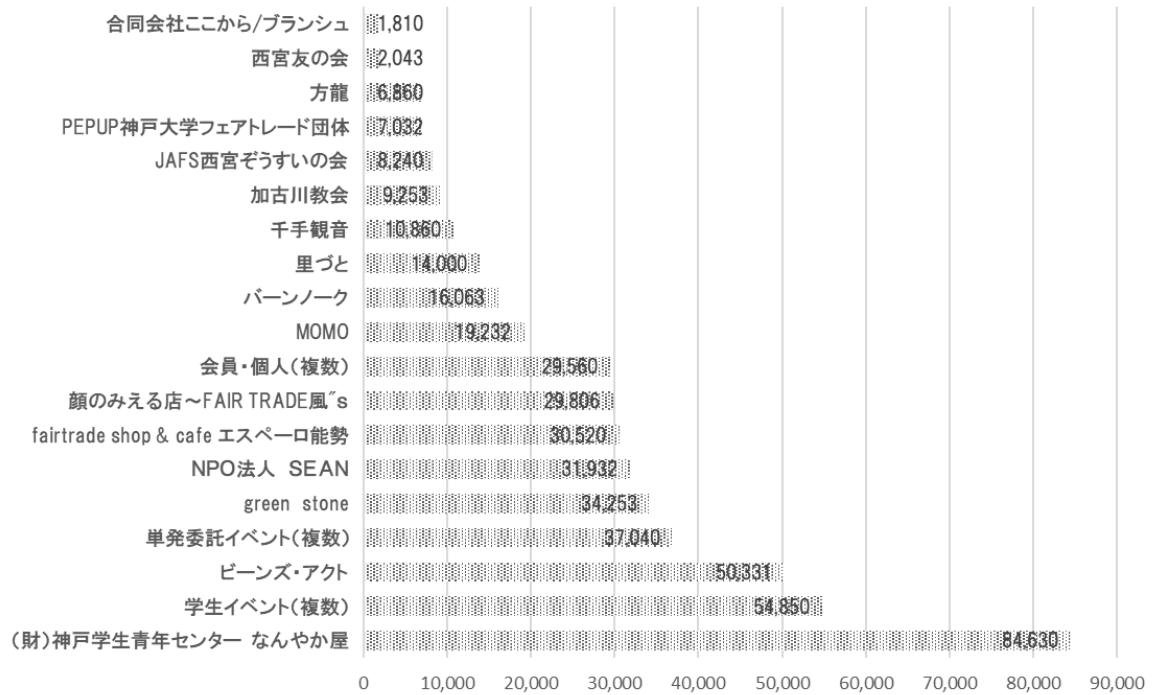


2019年度の生産国別売上個数を比較すると、ネパールは354点、インドネシアが108点、タイが75点、フィリピンが45点であった。フィリピンの製品が少ない傾向は昨年と変わらない。

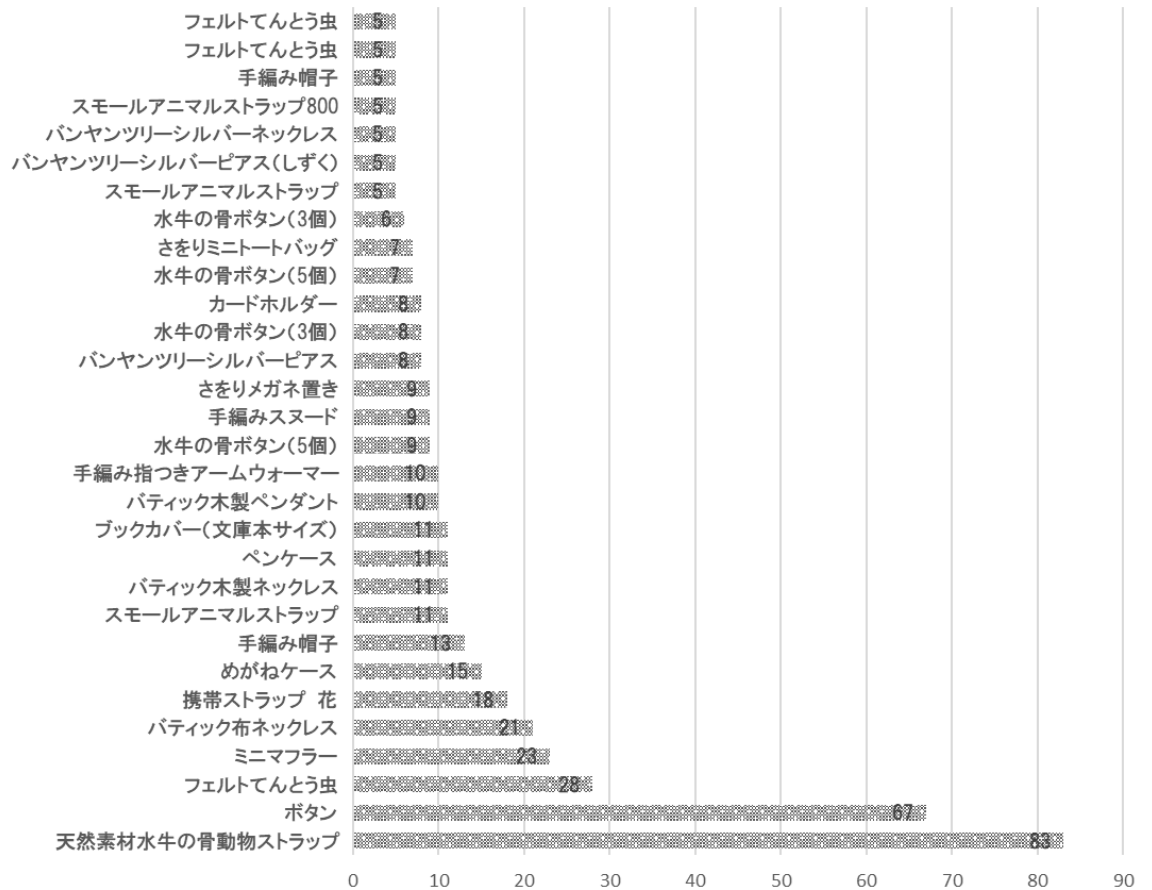
水牛の骨ストラップ、フェルトてんとう虫、バティック布ネックレス、めがねケース、手編み帽子は昨年度と同様に上位を占めた一方、昨年度14点売れたお薬手帳が今年は上位に入らなかったが、おおむね売れ筋の上位はあまり入れ替わっていない。

取引店舗(団体)別では、昨年度と同様、神戸学生青年センターが断然多い。次いでビーンズ・アクト、グリーンストーンとなっている。グラフの通り、売上のほとんどは約10登録店舗で占められている。アジアの布展や講演招聘など、なんらかの関係性のある店舗の売上が高いことがわかる。今後は、取引の少ない(なかった)店舗向けの販促と、売上の高い店舗への販促と、アプローチを変えて戦略を考えたい。

2019年度登録店舗別の合計購入金額



2019年度売上点数順位(5点以上)



【ECによる販売】

Sooooos. (<https://soooooos.com/shop/awep/index>) と BASE (<https://awep.thebase.in/>) の両サイトで販売している。

2019年度実績は、前者が6件（合計17,830円）、後者が4件（10,827円）であった。昨年度は、それぞれ3件（4,860円）、8件（30,916円）であったので、件数はほぼ変わらないが売上が減少した。昨年度末から、SNSと連動させるなど通販サイトの広報に力を入れ始めたので、引き続き2020年度も通販に焦点をあてていきたい。

（2）女性のエンパワメントに資する活動

【スタディツアーの実施】

2019年度はスタディツアーを実施していない。問い合わせは1件あった。

2 国内事業

（1）日本に住む外国人女性の生活相談や情報提供を通じた生活支援

①生活相談事業

原則毎週水曜日に電話、および来所による相談に22件対応した。複数の担当がインテークした場合も効果的に対応できるよう、相談シート等を通じて情報共有した。また、基本的にはAWEPは他の専門組織への適切な橋渡しをしているが、場合によってはNGO神戸外国人救援ネットなど関係団体との連携、同行などを丁寧に行っている。本年度は同行対応を3回行った。

2019年度は、同じ相談者からの相談が増えた。同じ相談を複数の団体に行っていることもあり、他団体とのケースの共有・連携の重要性を再認識するとともに、相談者の意向を尊重することとの両立に難しさを感じることもあった。

②情報提供事業

【あんしん通信】

「あんしん通信」は原則月2回、やさしい日本語と英語で発信を継続している。本年度は、NO.284からNO.303まで計20回発信した。登録受信者は合計63名。

取り上げるテーマの選択、やさしい日本語への変換など、ボランティアのメンバーと協議しながら原稿を作成している。

2018年度からは「あんしん通信」を文字情報としてだけでなく、ネットラジオ（FMわいわいと協力）を通じて、当事者の声を交え、音声情報で伝えてきた。

放送に登場した方々は、斉藤喜久さん、川口フォイさん、金丸グレーシーさん、伊井直介さん、井口幸治さん、戎香里菜さん、北村広美さん、匿名1名の、のべ13名の方々。

2019年度は、在住外国人の方々への情報発信に特化したページとして、Facebookページ「あんしんつしん」を新たに開設した。今後はこのページを活用し、優しい日本語、英語、タガログ語を中心に、より迅速な情報提供を行っていく。



(2) 共生社会を創り出すための交流・啓発・アドボカシー活動

①他団体との関係強化

【NGO 神戸外国人救援ネット】

運営委員として鋤柄理事が毎月第2月曜日の運営会議に出席し、運営、事業に参画している。

【ひょうご DV 被害者支援連絡会 (HYVIS)】

HYVIS 代表に昨年度に引き続き鋤柄理事が就任し、兵庫県内の女性支援団体との定例会議出席 (5回)、神戸市、兵庫県の DV 被害者支援担当者との懇談を行った。

6/24 DV 被害者支援セミナー、10/31 兵庫県 DV 防止ネットワーク会議、2020年2/8 支援者向けセミナー、2/28 支援者向けセミナー (中止)

【移住労働者と連帯する全国ネットワーク】

6/1,2 に東京で開催された全国フォーラムに、奈良理事が出席した。「女性・貧困分科会」の報告書作成の協力をした。報告書は、同団体の情報誌「Migrants Network 206号」に掲載された。

【関西 NGO 協議会】

準会員である。本協議会がコーディネーションする龍谷大学の国際協力入門の講義に協力した。

②勉強会、セミナーの実施

【外国人女性たちの学びを支援するための映画の上映とパネルディスカッション】

日本国内の外国人労働者を増やす方向に国の政策が舵を切った。在留資格に特定技能を設定、技能実習制度においても介護など新たな分野を設けている。今後外国人住民が日本社会に増えていくことを鑑み、長く日本に居住している女性たちがますます政策のターゲットの外に置かれ、厳しい経済的状況のまま取り残されるのではないかという懸念をもった。そのため、AWEP は国内の外国人女性たちの支援事業を拡充しようとしている。2019 年度は、神戸市の協働と参画の助成金を財源に「私にも『学ぶ権利』がある」～夜間中学校に見る多文化共生社会で「学ぶこと」・「生きること」と題して、夜間中学校を舞台にしたドキュメンタリー映画「こんばんはII」の上映と、当事者の女性たちの登壇するパネルディスカッションを2回実施した。（まとめとなる最後の1回は新型コロナウイルスの感染拡大予防のため会場が閉館になり実施できなかった）

いずれも参加者から好評を得た。第3回目はキャンセルになったが、2020 年度も継続して学びを支援する取り組みを行う予定である。

第1回 9月23日 会場 ピフレホール

登壇者：戎香里菜さん（夜間中学卒業生）

伊井直介さん（夜間中学校在学学生）

井口幸治さん（神戸市立丸山中学校西野分校教諭）

コーディネーター：大岡栄美さん（関西学院大学社会学部社会学科准教授）

参加者数：63名

第2回 11月30日 会場 神戸学生青年センター

登壇者：川口フォイスさん（神戸市立兵庫中学校北分校卒業生、フィリピン出身）

佐藤バレリーさん（神戸YWCA日本語・就業力スキルアップコース受講生、
フィリピン出身）

参加者数：18名

【日傘づくりワークショップ】

アジアの布に親しみ、身近に楽しめるように、2017年度から本ワークショップを開催している。2019年度は、6/22,29の2日間、村上菜摘氏の指導で実施した。2019年度は4名が参加し、それぞれ完成させることができた。



③通訳・翻訳等依頼のコーディネート

「ワークメイト」からの委託で神戸市中央区の行政情報をタガログ語でフィリピン出身の人に伝えるサイトを作成した。

④講師派遣・視察訪問などの受け入れ

講師派遣 6件

9/20 川西市男女共同参画センター：奈良

10/16 龍谷大学：奈良

10/7,10 兵庫県立長田商業高校：奈良

2020年

1/16 大阪府立東淀川高校：奈良

2/28 枚方市立西牧野小学校：奈良

2/29 エスパーロ能勢：奈良

視察訪問 1件

6/14 甲南女子高校：46名

インターン受け入れ 1件（Facilからの依頼）

7/31,8/5 大手前大学看護学部学生：6名

⑤連携事業

2018 年度から獨協大学高安ゼミエシカルチームの学生 5 名のチームによるネパール支援事業について、現地のシャクティ・サムハとのやりとりの協力や製品開発に協力してきた。製品はイベントでほぼ完売、シャクティ・サムハに事業全体のフィードバックを送り、同チームの事業は終了した。学生との長期にわたる協働は初めての試みであった。AWEP としては、売り上げ向上など実利的な意義というよりも、学生たちの学びを支援する社会的な貢献ができたと考えている。今後も実施体制などの面を勘案しつつ、趣旨と方法が AWEP の精神に合致するのであれば、可能な限り取り組みたい。

3 広報活動など

【AWEP 説明会】

6 回開催し、計 7 名の参加があった。うち、4 名の方がボランティア登録された。開催日と参加人数は次の通りである。

4/24 (一般 1 名、神戸市外国語大 1 名)、5/20 (神戸大学大学院 1 名)、5/24 (神戸市外国語大 1 名)、6/24 (一般 1 名)、7/12 (大阪市立大 1 名)、3/18 (関西学院大 1 名)

【ニュースレター】(デザイン・編集：井之上章子)

6 月に Vol. 50 を 500 部、12 月に Vol. 51 を 500 部、発行し、支援者や関係機関に送付したり、講演会などで配布したりした。あわせて、ウェブサイトの PDF 版を掲載した。

【ネット広報】

ウェブサイトの更新(お知らせ 32 回、製品情報 12 回など) の他、適宜 Facebook、Twitter、Instagram で発信した。あまり活用できていなかった Instagram を 2019 年度後半から積極的に投稿し、フォロワーを増やすことができている。引き続き、EC の活性化と、オンラインでの発信を増やしていきたい。

【ファンファンパーティ】

実施しなかった。今後、ワークショップとリンクさせて新たな飲食店と連携して取り組むなど検討を進めたい。

4 助成金の実績

助成金名	事業名	助成額	内容
公益信託 神戸まちづくり 六甲アイランド 基金	在日外国人女性に向けた 情報発信・相談活動とそ の促進事業	450,000 円	相談事業、あんしん通信 事業
神戸市「協働と 参画」推進助成 金	外国人住民の「学び」を 考え、支える活動	355,724 円	「こんばんはII」上映会 とパネルディスカッショ ン
真如苑・ひょう ご・多文化共 生・外国人支援 基金（助成期 間：2019年11 月から2020年 10月まで）	在日外国人女性に向けた 情報発信・相談活動とそ の促進事業	300,000 円	相談事業、あんしん通信 事業

III 活動の実施体制

I 意思決定と実務推進の主体

項 目	内 容
会 議	① 通常総会 2019年5月25日 ② 理事会 2019年5月25日、9月30日、2020年2月15日 ③事務局会議 原則毎月第1水曜日に開催
事務局の 体制	<スタッフ>（敬称略） ①全体統括：奈良雅美 代表理事 ②事務局長（総務・財務）：鋤柄利佳 理事 ③国内事業統括：鋤柄利佳 理事 ④その他事業担当： 海外事業 EC マーケティング担当：香取千晴 理事

	<p>ランパラハウススーパーバイズ：もりきかずみ</p> <p><ボランティア>（五十音順、敬称略）（2020年3月末時点）</p> <p>井之上章子、いなだ多恵子、鹿嶋節子、木下みなみ、鈴木美帆、鈴木雅子、高月渚、チェイス洋子、村上菜摘、もりきかずみ</p> <p>*ボランティア活動時間合計：298時間25分</p>
会 員	<p>運営会員 24名 賛助会員 51名</p> <p>*2020年3月末現在（下記に一覧）</p>
他団体との 連携	<p><地域></p> <p>特活) たかとりコミュニティセンター（神戸市長田区）：同センター所属のメンバーとして連携し地域の活動に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例連絡会（毎月第1、3土開催） ・理事会への理事派遣（年4回開催） <p><女性支援・外国人支援></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 神戸外国人救援ネットの運営委員としての活動（鋤柄） <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議出席（毎月第2月曜日）。 2. ひょうごDV被害者支援連絡会（HYVIS）の構成団体としての活動（鋤柄） <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県内の女性支援団体との定例会議出席（偶数月第4水曜日）。 3. 「移住労働者と連帯する全国ネットワーク」の全国フォーラム東京に参加（もりき、奈良） <p style="text-align: center;">（2019年6月1、2日 於：東京都）。</p> <p><国際協力></p> <p>特活) 関西 NGO 協議会（大阪市）：準会員として参加</p>

II 運営に関わり・活動を支えるみなさん

運営会員 （23名）五十音順 敬称略
<p>青山由香 縣晶子 朝倉克己 いなだ多恵子 岡内克江 太田和宏 笠 久恵</p> <p>鹿嶋節子 神田慧太 木村寿子 熊野純 定藤繁樹 鋤柄利佳 高木健作</p> <p>武田 丈 チェイス洋子 仲尾育哉 奈良雅美 西脇鈴代 藤川真澄 村上菜摘</p> <p>もりきかずみ 吉野太郎</p>
賛助会員 （51名、内5名匿名）五十音順 敬称略

阿部三恵子 石山智子 市川栄見子 井原由紀子 占部 太 王貴美子 大森恵実
岡崎洋子 木村恵子 木村淳子 坂本陽子 皐月太郎 佐渡いづみ 嶋内良則
清水晴美 白井廣美 杉戸ひろ子 鈴木雅子 鈴木迪子 高木澄子 太治和美
谷口幸子 特定非営利活動法人すまみらい 中川加代子 中嶋秀昭 中森俊久
南場美紀 西海ゆう子 長谷川美代子 服部尚美 ビーンズ・アクト 飛田雄一
日比野純一 平等文博 藤井智子 藤田ふみ子 松代東亜子 三谷順子 三好宣子
村田裕子 モニカ ヘル マカエグ カヒグ 山田 恵 山本裕子 尹英順 吉田和代
吉田昌子

役員 五十音順 敬称略

理事：青山由香（2019年10月退任）太田和宏 香取千晴

定藤繁樹 鋤柄利佳 奈良雅美

監事：いなだ多恵子 仲尾育哉